

教科	数学	科目（単位数）	数学Ⅱ(2)、数学A(1)、数学B(2)	学年	2	類型	文系
学習目標	<p>(数学Ⅱ) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数および微分・積分の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>(数学A) 場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p> <p>(数学B) 数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>						
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標			自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	数学Ⅱ 第4章 指数関数・対数関数 第3章 三角関数		<ul style="list-style-type: none"> ・指数法則や対数の性質を理解し、グラフが描けるようになる。また指数・対数を用いた計算ができるようになる。 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。 ・三角関数のグラフが描けるようになる。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
1学期中間～期 末考査	数学Ⅱ 第3章 三角関数 数学B 第2章 ベクトル		<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の加法定理の応用・合成ができるようになる。 ・ベクトルが有向線分で表されることを理解し、内積を定義されることが理解できるようになる。また、図形の応用問題においてベクトルが利用できることを知る。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
1学期期末 ～2学期 中間考査	数学B 第2章 ベクトル 第1章 数列		<ul style="list-style-type: none"> ・空間ベクトルも平面ベクトルと同様に扱えることを理解できるようになる。 ・様々な数列の規則性を見出し、一般項や和を求めることができるようになる。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
2学期中間～期 末考査	数学B 第1章 数列 数学Ⅱ 第5章 微分と積分		<ul style="list-style-type: none"> ・漸化式や複雑な数列の一般項を求めることができるようになる。また和についても求めることができるようになる。 ・微分係数や導関数の定義を知り、微分することの意味を理解することができる。また簡単な微分の計算をすることができるようになる。 ・導関数を用いて、グラフを書くことができる。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
2学期期末 ～3学期 学年末考査	数学Ⅱ 第5章 微分と積分 数学A 第2章 整数の性質		<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分について理解し、簡単な不定積分の計算ができるようになる。 ・積分の計算を理解する。また、曲線などで囲まれた部分の面積が求められるようになる。 ・整数の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようになる。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
3学期 学年末考査 ～年度末	数学ⅠⅡABの問題演習		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきた単元について、基礎基本的な内容の復習に取り組み、知識の定着を図るとともに、応用的な問題についても積極的に取り組むことができるようになる。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「改訂版 高等学校 数学Ⅱ」数研出版、「改訂版 高等学校 数学B」数研出版、「改訂版 高等学校 数学A」数研出版 副教材：「フォーカスZ」（啓林館）、「スタンダード」（数研出版）、「フォーカスGold」（啓林館）、「サクシード」（数研出版）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。（教科書の練習問題等を自分で解き、授業で確認する。）						
評価方法	①考査 ②課題 ③授業態度（数学に興味関心を持って授業に取り組んでいるか）						